

## 第三者評価結果報告書

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

### ②施設・事業所情報

名称：横浜岡野すきっぷ保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：菅原 恵子	定員（利用人数）： 60名（61名）
所在地：〒220-0073 横浜市西区岡野1丁目15番4-2	
TEL：045-594-9261	
ホームページ： <a href="https://www.skip-hoikuen.com/yokohamaokano/">https://www.skip-hoikuen.com/yokohamaokano/</a>	

### 【施設・事業所の概要】

開設年月日 2018年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社 俊英館		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員： 5名
専門職員	保育士 20名	管理栄養士 (外部委託) 1名
	看護師 1名	調理師 (外部委託) 2名
	幼稚園教諭免許 12名	
施設・設備の概要	(居室数) 保育室4室、厨房1室、事務室1室	(設備等)

### ③理念・基本方針

#### 保育理念

地域と手を取り合い、子ども一人ひとりを暖かな眼差しで見守り育てていける保育環境をつくる

#### ミッション

子ども一人ひとりの意思を尊重し、自主性や主体性を持った意欲溢れる子どもを育てる

#### 保育方針

一人ひとりの育つ力に“働きかけ”、“信じる”“待つ”ことで花開かせる保育

#### 保育目標

“その子らしさを大切に生きる力を育む”

“互いに育ち合う中で、思いやりや優しさを育む”

### ④施設・事業所の特徴的な取組

- 一人ひとりの発達を理解した上で、子どもの気持ちに寄り添った援助や関わりをし、一人ひとりの可能性や育つ力を認め、信じて待つ保育を行っています。
- 子どもの主体的な活動や経験を通して、知識を伝える、教えるだけではなく、子どもの興味・関心を引き出していき、養護と教育を一体的に行うようにしています。
- 子どもが自らやりたいことを見つけ、方法を考えたり工夫したりし達成できるようにしていきます。子ども達が主体的、意欲的に挑んでいける環境を用意し、子どもの主体性、自主性を大事にした援助、関わりを配慮した保育を行っています。
- 「からふるキッズ」では、科学原理のあるもので実験を行い、子どもたちの科学の芽を育てています。
- 「英語で遊ぼう」という英語活動を通して、自然に英語に触れながら歌や遊びを楽しんでいます。

## ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年8月24日（契約日）～2021年2月5日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（初回）

## ⑥総評

### ◆特に評価の高い点

#### ●子ども一人ひとりを大切にした保育を実践しています

保育士は、子ども一人ひとりの気持ちを受けとめて共感し、子どもが「自分でしょう」と意欲を持って活動に取り組み、自信と達成感を得られるように支援しています。一斉活動の時にも強制することなくそばで見守り、子どもが自分から活動に参加したいと思うような声かけをしています。子どもたちの希望や、日々の子どもの様子や興味・関心を遊びや行事に反映するなど、子どもが主体的・自発的に生活と遊びができるようにしています。観察時の公園遊びでも、保育士のアドバイスを受けて鉄棒や縄跳びに挑戦したり、友だちとお店屋さんごっこを楽しんだり、グループで鬼ごっこをしたりと、それぞれが自ら好きな遊びを選んで遊び込んでいる様子を見ることができました。

#### ●職員会議や園内研修で目指す方向性を共有し、保育の質の向上を図っています

開園後、職員は、保育理念に基づく目指す子ども像や保育のあり方について話し合いを重ねてきました。様々な経験や経歴の職員が集まったこともあり、子どもへの関わり方や計画作成などのとらえ方が異なることもありました。具体的な場面についての話し合いを重ねる中で徐々に方向性の共有が図られています。職員は、クラス会議や週会議、職員会議など話し合いの機会を多く持ち、自己の保育を振り返り、方向性を確認しています。このような取り組みを通して、質の向上に向けた職員の意識が育っていて、保育の場面で職員からの様々な提案が実践されていることを確認することができました。

#### ●地域と良い関係を作り、地域の活性化や地域の課題解決に共に取り組んでいます

保育理念に地域と協力して子どもを育てていく姿勢を明示し、地域との関係作りに力を入れています。自治会と情報交換し、園の行事に地域住民を招待するなどし、交流しています。夏祭りを自治会と共に同日に行っており子どもや職員が参加したり、交通安全や防犯の取り組みに協力するなどしています。子どもたちは地域に優しく見守られ、日本の伝統文化に触れるなど様々な経験をしています。子どもが非常に少ない地域にありますが、地域の活性化や課題解決に共に取り組むことで、地域のニーズに合わせた地域支援につながっています。

### ◆改善を求められる点

#### ●職員間での情報共有に向けたさらなる取り組みが期待されます

保育室が3つのフロアに分かれていて他のフロアのクラスの様子が分かりにくいということもあり、職員間での迅速な情報共有が課題となっています。毎週の週会議をしたり、フロアが異なるクラスと一緒に活動をするなど、様々な工夫をしていますが、今回の職員アンケートでも情報共有が課題としてあがっています。フロアが違う職員が意見交換したり、保育を見合う機会をさらに工夫し、情報共有に向けて取り組んでいかれることが期待されます。また、運営の透明性を高めるためにも、財務などの経営・運営の情報を職員に積極的に周知していくことが期待されます。

### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園してから3年目になり、保育方針・理念・園目標の理解を深めながら、園としての土台を少しずつ築き上げ、どうにか保育の形や方向性が見えてきたところでの第三者評価受審でした。

かつて経験のないコロナ禍の中で、新しい生活様式での園運営になっていますが、評価項目も今年度としては評価の難しい部分もあり、前年度での様子で回答を導いていく項目もありました。評価項目は、保育の中でやるべきことが具体的に文章化されており、積極的に取り組むべきところやより工夫が必要なところ、これからも継続していきたいところ、運営面等、様々なことが明確になり改めて第三者評価を受審する意義を理解しました。アンケートの中でも、コロナ感染症対策もあり子どもたちの日常の様子が見え難いことや保育士との話す機会が少なくなっているなどのご意見がありました。そして それを今後どのように工夫し、改善していくかなど、会議でも活発に意見を出し合い、今後に向け保育サービスに繋げていけるように、検討を行う第一歩を始めることができました。

そして保育園が持つ社会的責務が果たせるよう、専門性を高め保育の質の向上を図ることの重要性を改めて確認し、気づき合える良い機会となりました。私共は第三者評価の結果を真摯に受け止めていき、保育士として常に学び続け、子どもたちの最善の利益を保障し、保護者の皆様や地域社会に根差した園運営ができますようこれからも努力を忘れず歩み続けていきたいと思っております。市民セクターよこはまの皆様には、細やかな助言や園の思いを汲み取って頂き、また今後の方向性や課題を示唆して頂いたことに厚く御礼申し上げます。最後に、保護者の皆様には利用者家族アンケートにご協力をいただき心から感謝いたします。

横浜岡野すきっぷ保育園  
園長 菅原 恵子

### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり